



# 山びこ

富良野市立  
扇山小学校  
学校だより

令和4年3月1日  
第11号

## 6年生との学びから

校長 桑原 啓成

6年生と社会科の近現代史の単元を学習しました。大正時代の民衆運動から太平洋戦争の終結までです。導入部分である大正時代の民衆運動については、「鬼滅の刃」のキャラクターを通して、作中で描かれている生きることの苦しさや世の中に対する理不尽さを感じ、当時の民衆が、どのようにして様々な権利を獲得したのか学びました。日中戦争から第二次世界対戦における太平洋戦争については、民衆の営みに焦点を当て、沖縄戦を主教材にして、戦争の理不尽さと平和の尊さについて学びました。6年生に伝えたかったことは、しっかりと民主主義について考えてほしいということです。

「民主主義」とは「国のあり方を決める権利を国民がもっている」と考える政治体制のことです。「資本主義」「社会主義」「共産主義」「民主主義」の区別がよく分からないという声もありますが、「資本主義」「社会主義」「共産主義」は、経済体制を示す用語であるのに対し、「民主主義」は政治体制を示します。民主主義国家では、国民の政治的な自由、表現の自由、言論の自由を認め、国民が自分たちの代表を選挙で選び、その選ばれた代表者に政治を任せます。そして、代表者が国民のために仕事をしなければ、選挙で落選させることもできます。世界を見回すと、自由な経済活動を重視する資本主義体制でありながら独裁制をとる国家もあります。たとえば、世界有数の産油国であるサウジアラビアや海外企業を積極的に誘致して発展したシンガポールなどです。また、経済的平等を重んじる社会主義的な政策をとりながら、民主主義と両立している国家もあります。スウェーデンやノルウェーなどの北欧諸国がこれにあたります。ただし、資本主義で経済活動を自由にしようとする、国民の考え方も自由にしていく必要が生じるため、資本主義と民主主義には親和性があります。日本も、資本主義と民主主義の体制を両立させている国家のひとつです。因みに、北朝鮮は独裁制の社会主義国家でありながら、「朝鮮民主主義人民共和国」と、国名に「民主主義」が含まれています。「民主主義」をわざわざ国名に入れている国は、およそ民主的でないというのがお決まりのパターンです。

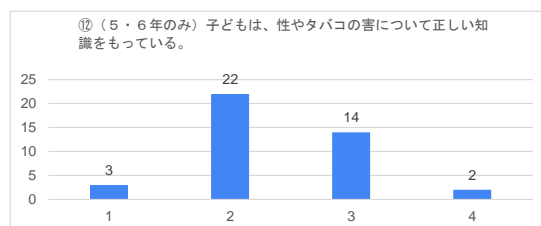
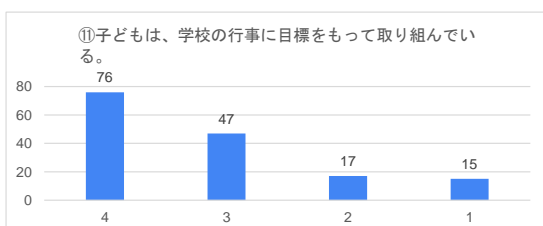
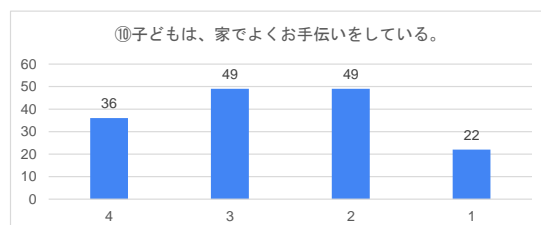
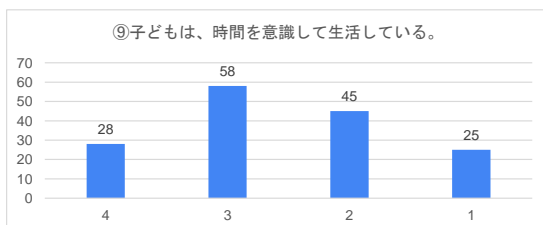
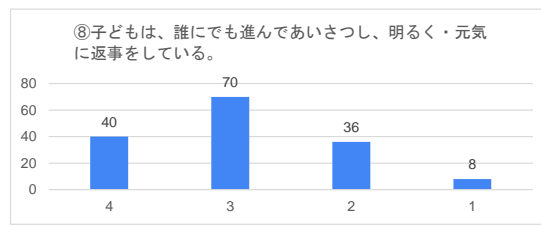
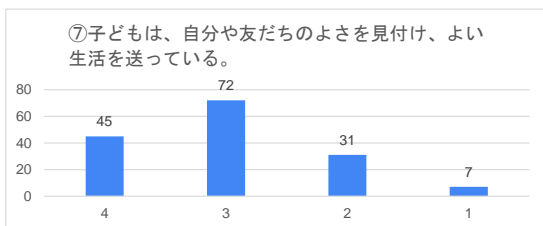
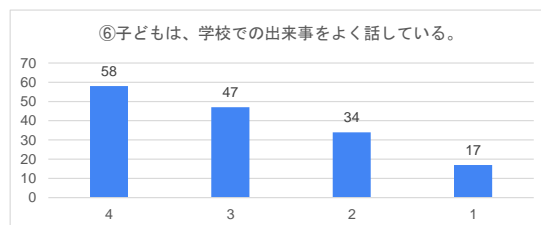
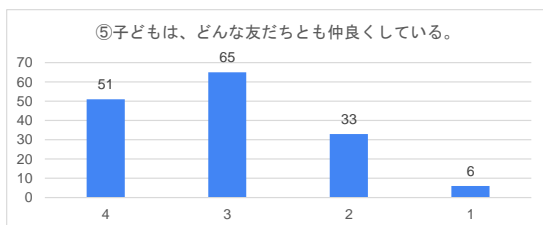
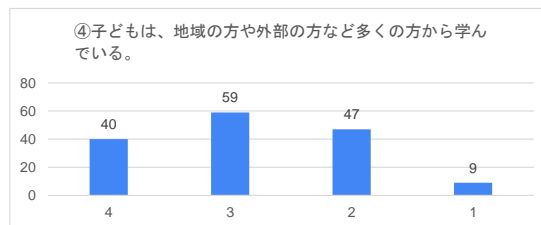
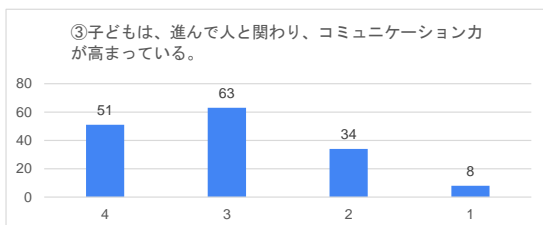
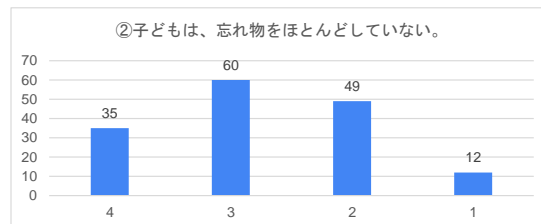
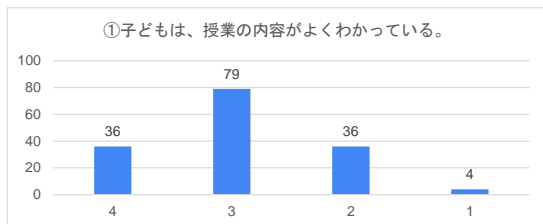
ところで、日本の民主主義ですが、世界における評価はどうでしょうか。イギリスの『エコノミスト』誌関連のシンクタンクは、世界167の国と地域を対象に民主主義ランキングを発表しています。2016年のランキングでは、1位がノルウェーで、日本は23位でした。これは、先進国の中では、下位にあたります。その大きな理由のひとつは投票率の低さです。最上位の北欧諸国は、投票率が80%程度に達しているのに対し、日本の衆議院選挙の投票率は50%程度と低迷している現状があります。投票率が低いのは民主主義が成熟していないから、と評価されているのです。もうひとつの理由は、女性の国会議員が少ないことです。ヨーロッパでは、女性議員は3割を占め、大統領や首相になる女性リーダーもいます。これに対して日本の国会では、女性議員はあくまで少数派で、女性の総理大臣もいまだ誕生していません。昨年実施された東京オリンピック・パラリンピック前組織委員会長の森氏の発言が大きな物議を醸しました。日本の男女平等に対する意識の低さが世界に露呈したエピソードです。また、世界中のジャーナリストが組織するNGO・国境なき記者団が発表する「世界報道自由度ランキング」（2019年）を見ると、日本は67位です（2010年は11位でした）。その大きな要因とされるのが、2011年の東日本大震災による福島第一原発事故の報道の在り方です。原発事故についての情報がオープンにならなかったため、海外のメディアから厳しい目が注がれました。さらに、特定秘密保護法の施行、フリーや外国人記者の活動制限、首相の記者会見の在り方なども指摘されています。

民主主義は、しっかり自分で考え、行動することによって守られる権利です。6年生には、私の授業を通して、民主主義について考えるきっかけになればと切に願っています。

## 2学期末に行った「保護者アンケート」の結果をご報告いたします。

4 かなり達成している    3 ほぼ達成している  
2 達成しつつある        1 達成していない

### 【アンケート結果】



今年度も「グーグル・フォーム」でアンケートを行いました。回収率は、約70%でした。その結果、ほぼすべての項目で「達成しつつある」や「ほぼ達成している」等の肯定的な回答が多くあったことから、コロナ禍においても「扇山小の教育活動」を好評価していただいたことがわかり、教職員一同も大いに励まされました。

今後も全教職員で、一人一人の子どもたちへのきめ細かにな指導に努めます。

記述につきまして、保護者の皆様から様々な貴重なご意見をいただきました。抜粋して掲載させていただきます。

#### 【運動会について】

○運動会は、コロナ禍の中、最大限の内容で行って頂いたことに感謝します。保護者が学年別の観覧などではなかったため、他学年の競技も観覧できたり、代表リレーなども楽しめたりととても良い時間でした。先生方も全力でフォローされているのが印象的でした。

○コロナで制限がある中、工夫を凝らした内容で、子どもの成長も感じました。

○午前だけの開催で十分楽しめるようになった。

△禁煙なのに、かなりタバコ臭かった。

→今後もPTAと連携しながら、マナー向上に取り組みます。

△選手リレーはクラス全員のタイムを測り速い順に選んだらいいと思います。遅い子と速い子の差があり過ぎてオールスターリレーと同じ感じがしてドキドキワクワク感がなかった気がします。

△徒競走は、同じようなタイムの子ども同士競ったほうが、更に伸びるのでは…と感じました。

→貴重なご意見を参考にし、よりより種目へと改善してまいります。

#### 【学習発表会】

○達成感を味わうことでできて良かったです。やはりスポットライトを浴びる機会は大事だと思いました。

○今までの練習、努力が発揮できた発表会だったと思います。今まで演奏してきた曲は完成度が上がり、初めての曲は鳥肌が立つほど素敵でした。難しい伴奏も良く弾けていたと思います。演出もおもしろくてあっという間に時間がたちました！

△学芸会と違い物足りなさを感じる。参観日みたいな感じがする。

→来年度もコロナが収束しなければ、今年度のような内容で実施せざるを得ませんが、状況がよくなれば従来通りの「学芸会」として行いたいと考えています。

△在校生の兄弟は、観客席で見れないというのが違和感でした。

→今年度は感染症対策のため、観覧人数を制限しました。来年度は、感染状況に応じて、児童の観覧について検討します。

#### 【教育活動全般】

・担任の先生が子どものことをよく見て分かってくださり感謝と共に安心しておりました。座学の授業の他にも様々な取り組み（幼稚園生との活動や凝った図工、野外活動など）を実践して頂き、体験から学習していることが分かります。そのための準備なども大変かと思っておりますのでとてもありがたいです。

・コロナのせいで出来ない！じゃなく、できることをやろう！という先生方のその姿勢が、子ども達を前向きにさせてくれたと思います。ありがとうございます。

・マスクの必要性について最近気になっています。コロナが落ち着いているのに学校にいる間ずっとマスクをし続けていることがいつまで続くのか、外せる時間はないのか、マスク生活が当たり前になっている子ども達がかわいそうに思います。マスクなしでの活動が増えたらなと思います。

・個人面談の時間をもう少し増やしてくれると話しやすいです。何もなければ、早く終わってもいいですが。

・タブレットの持ち帰りが始まり、教科書と合わせるとかなりの重量になっているようです。自主学習に支障のない教科書は学校に置いておけるなど、ご検討いただければと思います。

今回のアンケートでは、温かな意見をたくさんいただきました。なかには厳しい意見もありましたが、これらは扇山小学校をよりよい学校にするための建設的な意見であると捉え、今後の指導や学校体制づくりに生かしていきたいと考えています。今後とも「子どもの夢が叶う学校」を目指して、子どもたちが楽しく充実した学校生活を送れるよう、保護者や地域の皆様と協力していきます。ご協力、本当にありがとうございました。

## 薬物乱用防止教室

18日(金)、6年生がDVDを見ながら薬物の危険性や誘われた時の断り方、どのような犯罪につながるのかなどを学習しました。最近、薬物の所持や使用による事件も多数発生しており、決して他人ごとではない状況です。今回の薬物乱用防止教室で学んだことを忘れずに、絶対に薬物に手を出さないことを願っています。



## ラベンダーリボンプロジェクト

これは、愛媛県で取り組まれている「シトラスリボンプロジェクト」の富良野版です。コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛県の有志の方たちが「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めていることを知り、富良野でも、身近なところから広める事はできないか、そんな流れから、本校でも児童会を中心に取り組むことになりました。ぜひ、たくさんの方に知ってもらえたらと思います。



【リボン作成中の様子(5年生)】

※3つの輪でできてるリボン。3つの輪は、「家庭」「地域」「学校(または職場)」を表しています。

## 学校学級新聞コンクール表彰式

17日(木)に本校の2階広場において、富良野ロータリークラブ市内小学校・学級新聞等コンクールの表彰式が行われました。市内の小学校から応募された多くの作品の中から、本校の4年生が制作した「うまポテト新聞」が「審査員特別賞」を授賞しました。



この作品は、総合的な学習の時間で学習した「地産地消」について詳しく調べ、まとめたものです。色えんぴつを使ってレイアウトを工夫し大変きれいで見やすい新聞に仕上げました。

この成果を生かし、今後の学校生活に役立ててほしいと思います。

〈審査員特別賞〉 『うまポテト新聞』

○作成者

- ・井上 慧美さん(4の1)      ・安達 優子さん(4の2)
- ・今西 海依さん(4の1)      ・井口 斗垂さん(4の2)

## 3月行事予定



- 1日(火) 全校集会(月)
- 2日(水) 4時間授業、ALT(3・4・6年)
- 3日(木) 4時間授業
- 4日(金) 児童会役員選挙
- 7日(月) ALT(1・3・4年)  
諸費再引落日
- 8日(火) 6年生を送る会、学校運営協議会③
- 9日(水) ALT(2・3・4年)
- 10日(木) 同窓会入会式(6年)

- 11日(金) 卒業式練習①  
スクールカウンセラー来校
- 14日(月) ALT(4年)、諸費引落日
- 16日(水) 卒業式総練習
- 17日(木) 卒業式前日準備(5年)  
後期通知表配付日(6年)  
第120回卒業証書授与式
- 18日(金) 春分の日
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 諸費再引落日
- 24日(木) 修了式、離任式、学年末清掃  
後期通知表配付日(1~5年)



※行事等は、中止・延期になる場合があります。